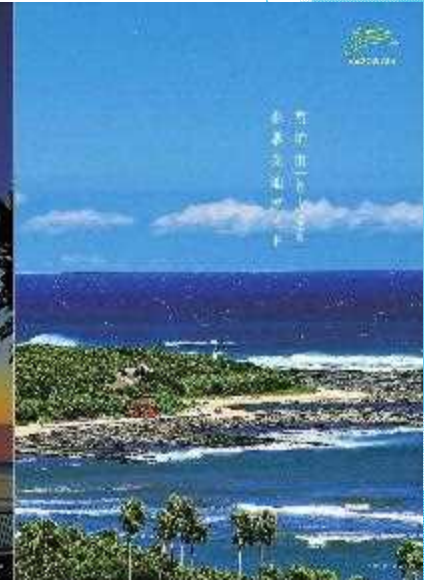


宮崎市公民連携セミナー

横浜市におけるオープンイノベーション・ スタートアップ推進の取組



2023年10月12日

横浜市経済局副局長 立石 建

自己紹介

- ▶ 父親が商社勤務で中近東転勤により、レバノン(ベイルート)生まれ、トルコ(アンカラ)に移住、小学3年生の時に来日
- ▶ 横浜で小中高、浪人後、筑波大学 社会工学類 都市計画専攻・卒業
- ▶ 平成2(1990)年 横浜市役所入庁
- ▶ 高秀市長(1990年～): 文部科学省勤務、理研の誘致
- ▶ 中田市長(2002年～): 職員アントレプレナーシップ事業創設、ライフサイエンス都市構想策定、川崎市役所兼務(殿町地区構想立ち上げ)
- ▶ 林市長(2009年～): 横浜市立大学医学部先端医科学研究・先進医療体制の整備、I・TOP横浜、YOXO、横浜未来機構創設
- ▶ 山中市長(2021年～): 横浜商工会議所など経済団体との窓口

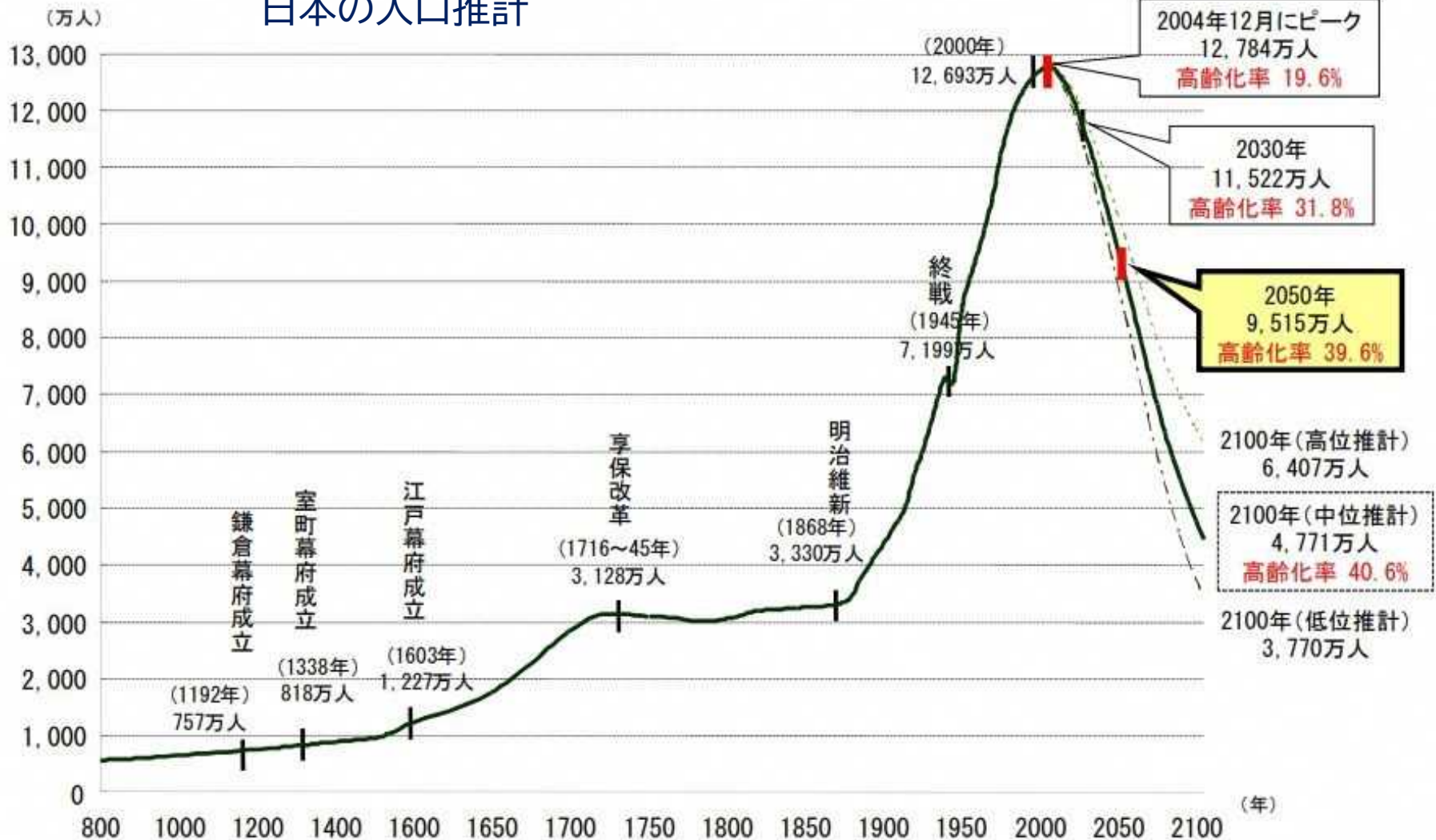
土日等休日は、小中学生向けソフトテニス教室のコーチをやりつつ、2020年から、寿地区(簡易宿泊所)路上生活者支援子どもや児童養護施設に通う子どもの支援などNPO活動を始める。



- ▶ 1. 背景・課題認識
- ▶ 2. きっかけと仮説
- ▶ 3. オープンイノベーションとスタートアップ
推進の取組み
 - (1) 立ち上げ期
 - (2) 関連施策との融合期
 - (3) 発展期へ
- ▶ 4. 振り返りと現在の課題
- ▶ 5. 最後に

1. 背景・課題認識

日本の人口推計



【出典】日本の長期人口推移と予測(国土交通省「国土の長期展望」)

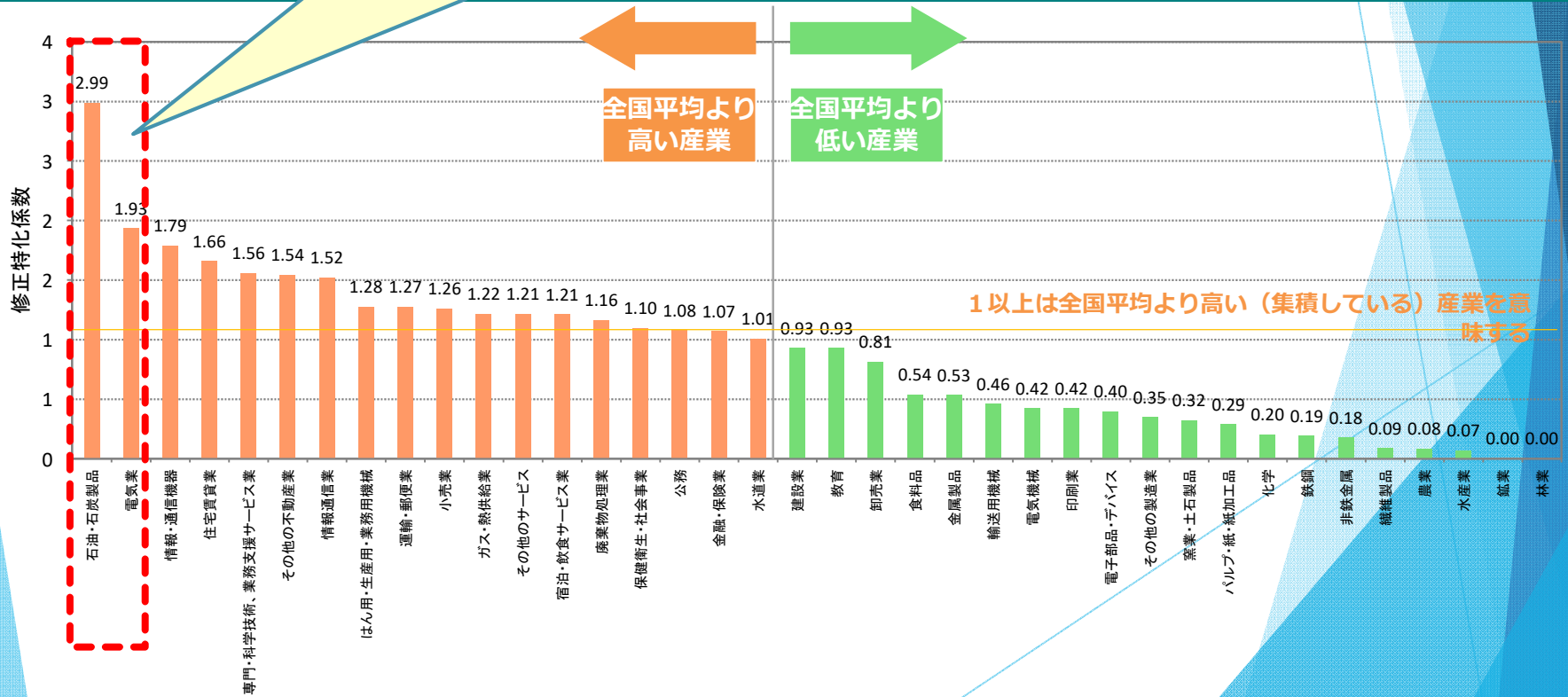
横浜経済構造分析結果(平成27年度)

分析の視点

- 全産業の生産額に占める割合が全国平均と比較して高い産業は、地域にとって比較優位な産業であり、地域の得意な産業である。
- ここでは、修正特化係数を用いて、全国平均と比較して地域で得意な産業が何かを把握する(下図)。

石油・石炭関連産業依存の一本足打法

産業別修正特化係数(生産額ベース)



2. きっかけと仮説

【きっかけ】

世界最大規模の先端技術イベント
「ハノーバーメッセ」(平成28年度)

【メンバー】

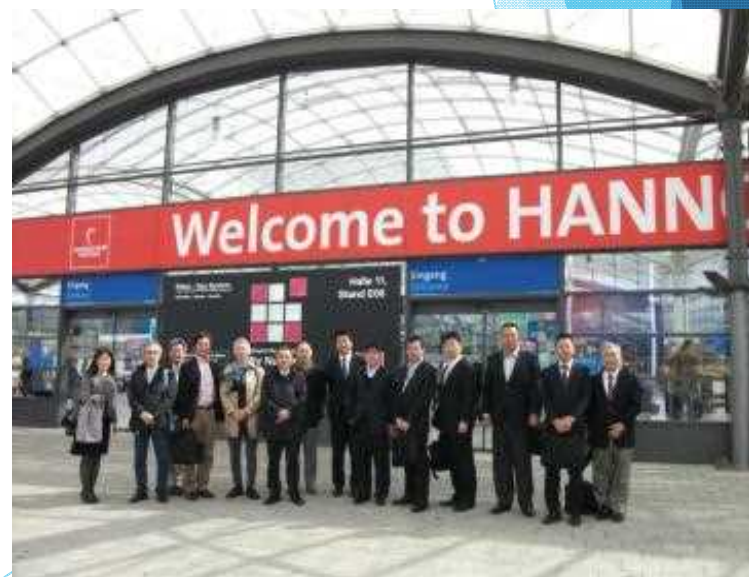
市内中小製造業・IT企業、IDEC横浜、横浜市経済局

【視察】

- ・オバマ大統領など主要閣僚の視察で
昼食も取れず(4泊6日の強行日程)
- ・毎日夕食は皆でビール片手に飲み明
かし

→気軽に相談できる人間関係が構築

→参加者から「一番の成果！」と声

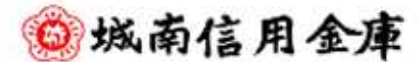
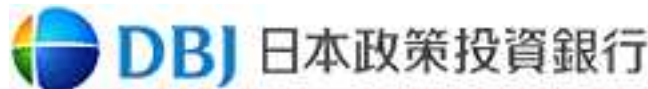
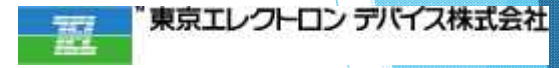


- ▶ 脱炭素・デジタル化など社会課題解決の新産業を
生み出していかなければ、**横浜経済の未来はない**
- ▶ 土壌となるオープンイノベーション(組織や業界の
垣根を超えた連携)の風土づくりをすることで、**スタートアップ・新産業**が生まれてくる

3. オープンイノベーションとスタートアップ推進 (1) 立ち上げ期

- ▶ 交流と連携が目的(横浜市の補助は想定していない)の会費無料のバーチャル会員組織
- ▶ 事業分野は問わず、横浜市に拠点がなくても参加可能
- ▶ ビジネス活動していただいでOK

I・TOP横浜立ち上げ当初



- ▶ 参加会員企業や団体が年々増加(新規会員100以上/年間)
- ▶ 海外からも参加(フランス、スイス、エストニア、上海など)
- ▶ 実証実験の提案も増加(個別プロジェクト50以上)
例:自動運転、スマートホームなど

オープンイノベーションを推進する仕組み

- IoTオープンイノベーションパートナーズ (I・TOP横浜) 平成29年4月～
- 横浜ライフイノベーションプラットフォーム (LIP. 横浜) 平成28年12月～

I・TOP 横浜
IoT Open Innovation Partners YOKOHAMA

参画企業数
約700社

交流・連携



個別プロジェクト推進

実証実験

目標

社会課題解決への貢献
中小企業のチャレンジ支援
新たなビジネスモデル創出

海外展開支援

特区制度の活用

イノベーション人材の交流

LIP. 横浜
Life Innovation Platform YOKOHAMA

参画企業数
約360社

ネットワーク



ライフイノベーションの推進

個別プロジェクト推進

イノベーション創出と戦略的な企業誘致

■政策の目標・方向性

○I・TOP横浜やLIP、横浜などのプラットフォームにより、オープンイノベーションの取組を強化することで、IoT、AI等の最新技術をいかした取組や健康・医療分野の革新的な研究開発を支援し、イノベーションの持続的な創出を目指します。

○関内地区のリノベーション促進によるオフィス環境の整備など、まちづくり施策と連動しながら戦略的な企業誘致を進め、市内企業の事業機会や雇用の場の拡大を図ります。

○研究開発拠点、外資系企業、ベンチャー企業などの立地を促進し、京浜臨海部や金沢臨海部「LINKAI横浜金沢」などの産業拠点の活性化を図ります。

①路線バス自動運転プロジェクト

- 将来の地域交通課題の解決を目指すプロジェクトです。
(相鉄バス(株)、群馬大学、日本モビリティ株式会社)



よこはま動物園(ズーラシア)⇔里山ガーデン
2019.9/14~10/14 約4,900人が試乗
2020.10/5/14 遠隔監視・操作による営業運行の実証実験を実施
左近山第1バス停~左近山第5バス停
2021.3/29~4/9

②医工連携プロジェクト

- 横浜市立大学医学部、千葉大学医学部のニーズをもとに、外科手術時の負担軽減のための装着型イスの開発プロジェクトです。



株式会社ニッター（中小製造業）の金型技術の活用



archelis

「archelis（アルケリス）」は医療現場のニーズから
生まれたウェアラブルチェアです

製品発表会（11月5日）参加申込みフォーム（報道関係者様）



3. オープンイノベーションとスタートアップ推進 (2) 関連施策との融合期

多様な人材の交流による新ビジネスを生み出す
イノベーション・エリア形成 (まちづくりと連携)

みなとみらい21地区

研究開発拠点が続々と立地
エンジニア、新規事業担当者など
イノベーション人材が集結



関内地区

海や歴史が感じられる独自の魅力をもつエリア
最近スタートアップが進出



企業等の集積

京浜臨海部

港北NT

戸塚
保土ヶ谷

他地域

渋谷・大丸有・日本橋
つくば 京阪神 福岡
・・・



海外

SV・NY・上海・ベルリン・パリ・ロンドン
・・・

金沢臨海部

本牧・磯子

117,000人 (就業者数) / 1,820社 (事業所数) <令和2年>

96.6% 開発率 (暫定含む) <令和2年8月>

(2)「イノベーション都市・横浜」宣言

エンジニア・起業家等
250名以上の
イノベーターが集結
(H31.1.7.)



スタートアップ成長支援拠点を開設

YOXO BOX

よくぞ ぼっくす

YOXO BOXは、本拠点が、横浜に新しい交流を生み出すためのサンドボックス（砂場=実験場）となるという意味を込めて命名しました。

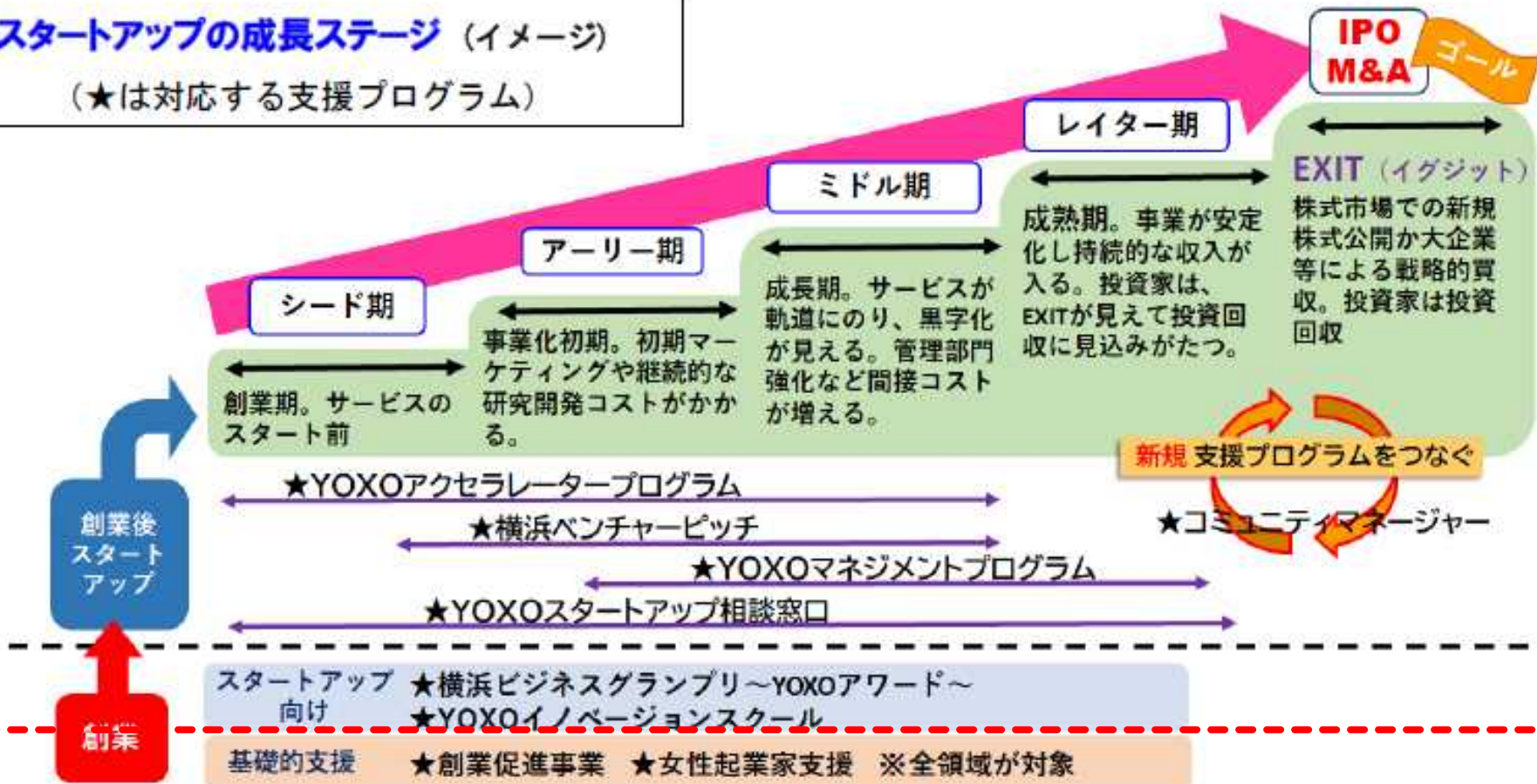
場所：横浜市中区尾上町一丁目6番I CON 関内（1階）
（令和元年10月31日～）



スタートアップの成長ステージに応じたプログラムを展開

スタートアップの成長ステージ (イメージ)

(★は対応する支援プログラム)



次代を担う起業家が数多く生まれつつあるYOXOBOX

これから新しいビジネスの起業を目指す方を対象とした起業講座（3か月）

創業3年程度の成長が見込まれるスタートアップを対象とした7か月の成長支援プログラム

第4期 YOXO イノベーションスクール

開講以降
約180名が修了!



スクール長 伊藤 羊一氏
Zアカデミア学長

ビジネスプラン作成、チームづくり、プレゼンテーション等を支援

YOXO Accelerator Program 2021

With/Afterコロナのイノベーション

今期は8月にデジタル、ヘルスケアなどの有望な12社を採択!



メンタリングや、パートナー企業・支援者等との連携・協業の機会を提供し、成長を支援

プログラム参加者や地域の皆様とのコミュニティ形成や実証実験なども進んでいます

株式会社CROSS SYNC

(横浜市立大学発スタートアップ)

◆重症患者管理システム

重症患者の重症度を常時システム上で解析し、スマホでリアルタイムにチェックできるシステム「iBSEN (イプセン)」を通じて、重症患者の治療を行う急性期現場におけるデジタル化を推進

◆2021年3月

1億5,000万円の資金調達を達成



日本経済新聞



ASCII STARTUP

(3) 発展期

2026年春には次世代の横浜を象徴するエンターテインメント & イノベーションの拠点となる新たな街がグランドオープン予定



↑【主な機能】

- ・旧庁舎街区: オフィス、大学、新産業創造拠点、商業施設、星野リゾート
- ・関内駅前地区: グローバルビジネス拠点、ベンチャー企業成長支援拠点、観光・集客機能、居住機能



YOKO FUTUREAL CROSS OVER

YOXO
よ く ぞ
YOKOHAMA CROSS OVER
X-VISION

横浜未来機構 YOXOクロスビジョン



みらいの希望は 創造できる。

横浜は、挑戦者を応援する。
なぜなら私たちは信じているからだ。
理想を追求し、領域や固定観念を越えて、
変化を生み出す挑戦こそが、
みらいの希望をつくることを。

変化の激しい現在だからこそ、
領域を越えた融合(クロスオーバー)によって
次世代のこどもたちのために、地球と社会の葛藤を乗り越え、
持続可能な希望あるみらいを実現しよう。

YOXO(よくぞ!)と挑戦者を称えあう、創造的な横浜へ。

② イノベーションの土壌づくり (活動当初の10のアクション)



みらいを体験できる都市を生み出す

みらい体験都市

- 1 ユーザー視点の実証実験「街ぐるみのみらい体験」
- 2 新たなアイデアをいち早く検証「β版フィードバック・サポーター」
- 3 未来の街をつくる「スマートな街・5Gユースケース創出プロジェクト」



「変化への挑戦者」を徹底的に応援する街になる

挑戦者応援都市

- 4 新事業のタネ、知識・社会を学ぶ「街ごとキャンパス構想」
- 5 ハードテックを民主化する「誰でもテックハブ」
- 6 クリエイティブなビジネス環境を可視化「スタートアップ・オフィスエリア・プロモーション」
- 7 技術シーズのポテンシャルを探る「基礎技術の新ビジネスへの応用支援」



業種・領域・国境などを「越境」しやすい街になる

領域越境都市

- 8 新結合・化学反応をおこす「イノベーション人材のコーディネート・交流」
- 9 新価値創造を目指す「R&Dからの新規事業開拓」
- 10 世界のイノベーターと接続する「グローバル・イノベーション・サポーター」

会員一覧(2023.9.30現在)

正会員92団体

 **accenture**

aperza


archelis

 **An-Nahal**

 **Amplify**

 学校
法人 **岩崎学園**

AGC

NTT DATA
Trusted Global Innovator

NEC
NECネットエスアイ

on|design

金井技術士事務所

KU 神奈川大学


株式会社環境創生
科学研究所

 **関東学院大学**

GIGA PRIZE 

 **KYOCERA**

 **GLOBAL DX**

製造+変革のMBA
 **グロービス経営大学院**

 **CROSSBIE**

SDMI
System Design and Management

中国ビジネスのハブ
 **KGカンパニー**

Co
STUDIO

SPS

 **JFE エンジニアリング 株式会社**

JTOWER

SCHAEFFLER

SHISEIDO

www.Sib.tv

SWAP, inc.

 **Secual**

 **相鉄ホールディングス**

THK

会員一覧



tvk コミュニケーションズ



NIKKEN
日建設計総合研究所

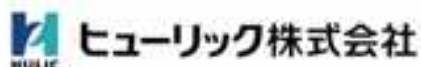
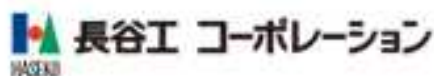
NISSAN
MOTOR CORPORATION



JSA 日本セーフティエアー株式会社



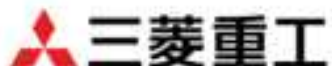
NOSIGNER



FUJIFILM

古河電工

MACNICA



三菱UFJリサーチ&コンサルティング

起業家とクリエイターのスタートアップ支援で、まちづくり。
横浜インキュベータ株式会社
powered by 横浜鶴岡特許事務所

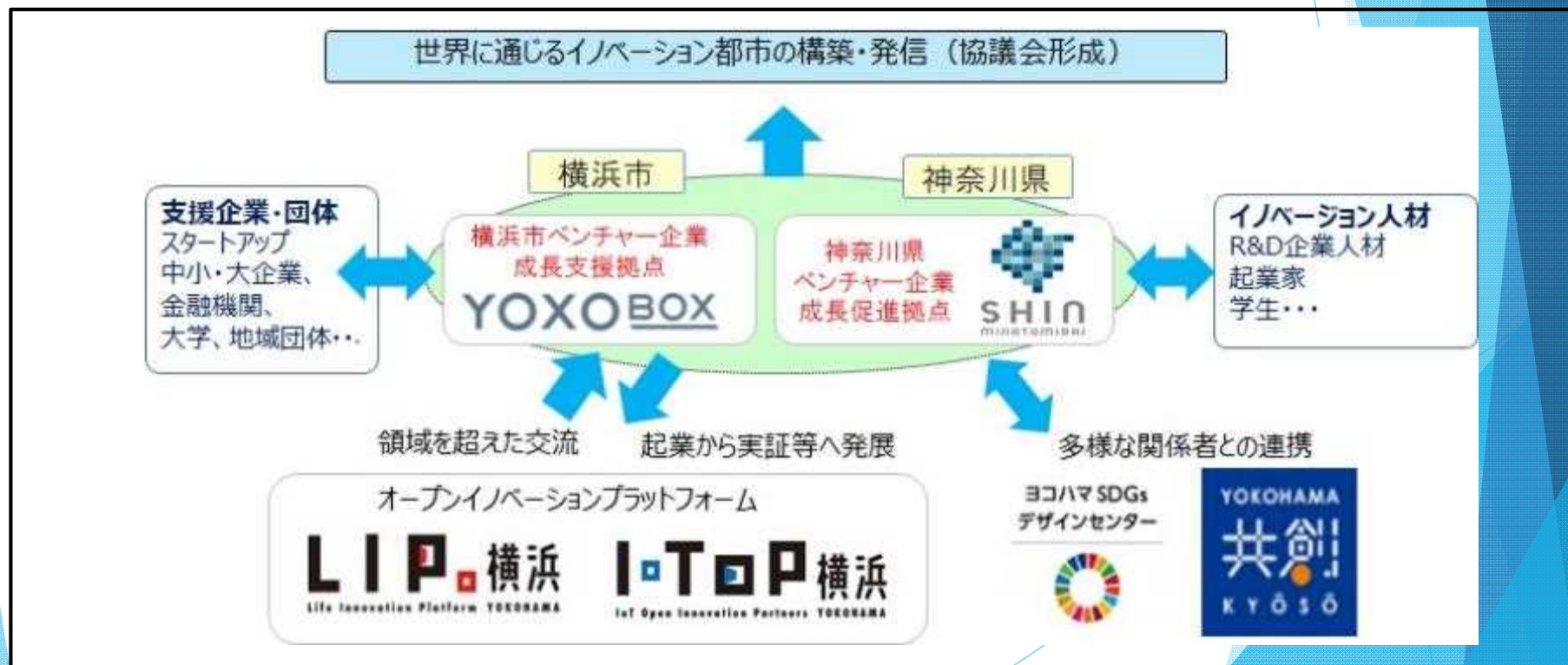


……ほか

内閣府「グローバル拠点都市」に選定

＜本市の提案の概要＞

ベンチャー企業成長支援拠点「YOXOBOX」をハブとしてI・TOP横浜、LIP横浜といったオープンイノベーションの取組を生かし、スタートアップ支援・新ビジネス創出のコミュニティ形成を進め、横浜ならではの人・企業・投資を呼び込むエコシステムを構築します。



渋谷区との包括連携協定締結

横浜市記者発表資料

令和2年11月18日
経済局新産業創造課
文化観光局創造都市推進課

横浜市と渋谷区が「グローバル拠点都市の形成及びオープンイノベーションの実現に関する連携協定」を締結

YOXO
よ く ゾ
YOKOHAMA CROSS OVER

 **渋谷区**
Shibuya City

横浜市と渋谷区は、本日、グローバル拠点都市の形成及びオープンイノベーションの実現について協力することにより、地域の活性化に資することを目的として、連携協定を締結しました。

両者は、令和2年7月に国の「世界に伍するスタートアップ・エコシステム拠点形成戦略」について、自治体・企業・団体等から成る東京コンソーシアムの一員として「グローバル拠点都市」に選定されました。

これを契機に、横浜市が提唱する「イノベーション都市・横浜-YOXO-」と、渋谷区が提唱する「渋谷区産業・観光ビジョン」の実現を目指し、それぞれの特徴を活かしながら、スタートアップ・エコシステムの形成、海外企業誘致、オープンイノベーションの推進などで、相互に協力・連携し情報交換や交流を促進することで、共に世界に伍するグローバル拠点都市の形成を図ります。



連携協力事項

- ① スタートアップ・エコシステムの形成
- ② 両者のグローバル拠点都市への成長に必要な海外企業誘致施策
- ③ 両者を世界有数のオープンイノベーション地域にするための施策
- ④ 情報交換及び交流の促進
- ⑤ その他、協力が必要と認められること

横浜市の取組み年表

	H28 (2016) 年度	H29 (2017) 年度	H30 (2018) 年度	R1 (2019) 年度	R2 (2020) 年度	R3 (2021) 年度	R4 (2022) 年度
オープン イノベー ション	・ハノー バーメッ セ視察 ・LIP立ち 上げ	・I・TOP 立ち上げ ・自動運 転PJ、未 来の家PJ	・横浜ラ ボ立ち上 げ	・国家戦 略特区ワ ンストッ プセン ター	・商店街 ラボ	・障がい 者支援施 設ラボ	
スタート アップ推 進			イノベー ション都 市宣言	YOXOB OX開所	Wework、 JETRO、 渋谷区、 三井不動 産との包 括協定	グローバ ル拠点都 市指定 横浜未来 機構設立	SU誘致 補助金・ 実証実験 等補助金 F-SUS 閉鎖
まちづく り・企業 誘致	MM開発	MM開発	MM開発	RBC	京セラ、 村田製作 所、関内 駅前開発	いすゞ自 動車、 AGC	中外製薬 WBC閉 鎖

4. 振り返りと現在の課題

●オープンイノベーション創出(H30~R3)

マッチング件数: **2,094件**(目標: **1,420件** / 4年)

プロジェクト数: **346件**(目標: **300件** / 4年)

●スタートアップ支援(YOXO)(R1~3)

SUが受ける民間投資額:

120.4億円(目標: **100億円** / 3年)

スタートアップの成長支援件数:

270件(目標: **100件** / 3年)

ビジネスイベント参加者数:

6,814名(目標: **5,000名** / 3年)

- ▶ **オープンイノベーションを推進したこと**
～立地企業との関係、誘致と連動、SUの広がり
- ▶ **研究開発施設を誘致してきたこと**
～本社との関係、個人の動き、イノベーションスペース
- ▶ **駅前再開発など、まちづくりと連動させたこと**
～イノベーションの広がり、大学生など若手人材

→企業誘致のセールスポイントが変化

(平成29年度まで)

- ▶ 羽田空港へのアクセス、東京に比較して地価の安さ
- ▶ 住みやすい環境、パシフィコ横浜

(I・TOP横浜立ち上げ後)

- ▶ 組織を垣根を超えた交流・連携(多様性)
- ▶ 豊富な実証フィールド(都心部、商店街等)
- ▶ MM21地区や関内地区のまちづくりとの連携
- ▶ 野毛・関内の飲み屋街

- ▶ 都心部と郊外部とのネットワーク化
～CMの配置、郊外部への企業誘致(R5年度条例改正予定)
- ▶ イノベーション人材育成(小中高生・大学生等)
～若手人材育成プログラム実施、人事交流
- ▶ サーキュラーエコノミーなど新たな取組み
～eスポーツ、メタバース、宇宙ビジネス、etc.

ご清聴ありがとうございました。

本日、ご参加の皆様が社会課題を解決するイノベーター！

イノベーションとは、0から1を生み出すだけでなく、一見すると関係ないように見えるさまざまな分野の疑問や課題、アイデア、やひらめき(、そして人)を上手につなぎ合わせる力です。

そして、そのために大切なことは、大好きなことをする、夢を語る(スティーブ・ジョブズ氏)